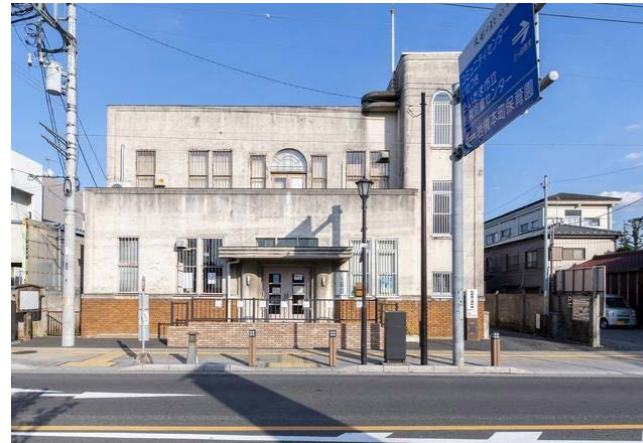


岩槻郷土資料館

建築美を堪能しながら岩槻の歴史も学べる



岩槻の歴史を学べるのはもちろん、建築に興味がある人も楽しめる施設。無料で入館できるので、モダンな建築美をじっくり堪能しよう

旧日光御成道に面して建つ資料館。1930年に建てられた岩槻警察署旧庁舎を利用して。鉄筋コンクリートと木造からなる2階建てで、内部には、アーチ状の窓や曲線を用いた天井の梁など、アールデコ調の装飾が施されているのも特徴です。「岩槻のあゆみ」「大昔のくらし」「くらしの道具」の3つのテーマに沿って資料を展示。岩槻の歴史を学ぶことができます。警察署庁舎としての機能性と装飾性を兼ね備えた貴重な建築物として、2016年に国の有形文化財にも登録されました。

📍さいたま市岩槻区本町2-2-34 📞/📠048-757-0271

岩槻藩遷喬館

武士の子どもたちが勉学や武芸に励んだ藩校



明治4年(1871年)に藩校が廃止されてからは民家として使用されていた期間が長い。現在は、県の史跡に指定されており一般公開している

岩槻藩の儒学者・児玉南柯が寛政11年(1799年)に開いた私塾で、後に藩校となり、岩槻藩の武士の子弟が勉学や武芸の稽古に励みました。全国各地で開校した藩校ですが、現在も建物が残っているものは非常に少なく、県内で唯一現存しているのがこの岩槻藩遷喬館です。

📍さいたま市岩槻区本町4-8-9 📞/📠048-757-5110

岩槻本丸公民館

城下町ならではの城をイメージした公民館



地域の個性を生かし、かつ景観にも配慮された建造物。この公民館と温水プールは市の「景観重要建造物」に指定されている

岩槻城の三ノ丸跡地に建設された岩槻本丸公民館と隣接する岩槻温水プールは、城下町岩槻にふさわしい城をイメージした建物。日本瓦と白壁を基調として、周囲のまちなみに調和しています。視聴覚ホールや多目的室などを備え、社会教育活動の拠点となっています。

📍さいたま市岩槻区本丸3-17-1 📞048-758-3100 📠048-758-5101

武州岩槻総鎮守 久伊豆(ひさいず)神社

歴代城主の守護神、由緒正しき岩槻の総鎮守



古来からの本殿は残念ながら明治8年(1875年)の火災で焼失してしまった。現在の本殿は明治15年(1882年)に再建されたもの

約1500年前に創建されたと伝わる岩槻の総鎮守。御祭神は、国土開拓・生成化育・子孫繁栄の御神徳で知られる神、大国主命。歴代の岩槻城主から、守護神として崇敬されていました。また、最近では、久伊豆という名称が「クイズ」とも読めるため、勝負運に強い神社としても有名です。1万坪もの敷地に緑豊かな森が広がり、憩いの場として市民から愛されています。また、昭和初期に皇室より奉納された孔雀の末裔が大切に飼育されており、神社のシンボルとして親しまれています。

📍さいたま市岩槻区宮町2-6-55 📞048-756-0503

時の鐘

江戸時代から続く鐘の音が今なお美しく響く



現在の鐘は、江戸時代中期の享保5年(1720年)に铸造された銅鐘。城下町のシンボルとして多くの絵図などにも描かれてきた

市指定文化財である「時の鐘」は、江戸時代の岩槻城主が城下町に時刻を知らせるために設置した鐘楼。今なお鐘の音が1日3回響き、時を告げています(朝夕6時・正午)。岩槻のランドマークとして江戸時代から現在に至るまで人々に愛され続けています。

📍さいたま市岩槻区本町6-299-1ほか

人形塚

年に1回「人形供養祭」が行われる



岩槻出身の関根将雄画伯がデザインを手掛けたもので、幅8.4m、奥行き4.4m、高さ2.7mの御影石の台座上に、男雛と女雛が寄りそう

岩槻城址公園の一角にある人形塚では、毎年11月3日(祝)に、古い人形や壊れた人形を供養する「人形供養祭」を実施。僧侶の読経のもとに参加者が焼香、お焚き上げをして人形の冥福を祈ります。

📍さいたま市岩槻区太田3-4 岩槻城址公園内 📞048-757-9122 📠048-878-8310 (岩槻城址公園管理事務所)

歴史的建造物から博物館まで 岩槻の歴史スポットをご紹介します



岩槻のまちには、江戸時代から残る建造物や神社から博物館まで、歴史を感じられる様々なスポットがあります。岩槻の歴史を学んだり感じたりできるスポットをご紹介します。



岩槻人形博物館

約5,000点の人形を所蔵する 公立では日本初、人形専門の博物館

江戸時代に作られた人形など、主に日本の古典人形を所蔵、展示しているのが、2020年2月にオープンした「岩槻人形博物館」です。この博物館の所蔵品は、人形玩具研究者、収集家として知られ、大正から昭和時代に活躍した日本画家・西澤笛のコレクションが中心。節句人形、郷土人形、創作人形などジャンルは様々。東南アジアを中心とした海外の人形や、人形が描かれた浮世絵なども所蔵しています。約5,000点ある所蔵品のうち、常時40点ほどが常設展示室に展示され、2〜3カ月に一回入れ替わります。月ごとに入替えがあります。テーマを決めて展示される企画展・特別展は年に4回ほど行われる予定です。また、岩槻は国内有数の人形の産地であり、人形作りについて学ぶことができる展示室もあります。人形の製作工程、製作道具や材料、文献資料などが展示されており、岩槻の職人による製作の様子を映像で見られることもできます(現在は停止中)。博物館に隣接する「にぎわい交流館いわつき」では、伝統工芸品などの制作を体験できる講座や人形製作の実演などが行われています。



写真上/人形作りの工程がわかる展示室。頭、胴体、小道具など、細かく分業化されているが、人形のまち・岩槻には、どの工程の職人もいる。写真下/常設展示室には約5,000点の所蔵品の中から、常時40点ほどが展示され、不定期で入れ替えがある



「開館一周年記念企画展 天野家の雛祭り」を2021年1月30日~3月21日まで開催。明治から昭和初期までの雛人形などを展示

📍さいたま市岩槻区本町6-1-1 📞048-749-0222 📠048-749-0225 開館時間: 9:00~17:00 (入館は閉館の30分前まで) 休館日: 月曜(休日の場合は開館)、年末年始(12/28~1/4) 料金: 一般300円、高校生・大学生・65歳以上150円、小学生・中学生100円



代表的な収蔵品のひとつ「犬宮(いぬご)」(江戸時代)。女性が結婚するときに子孫繁栄を願って嫁ぎ先に持参する婚礼調度品だったそう

岩槻産のヨーロッパ野菜を楽しむ 「ヨロ研カフェ」

岩槻人形博物館に隣接するこちらのカフェでは「さいたまヨーロッパ野菜研究会」に所属する地元農家で作られた野菜を使ったメニューを楽しめます。「ヨロ研野菜たっぷりのワンプレート」(写真)は人気メニュー。



📍さいたま市岩槻区本町6-1-2 にぎわい交流館いわつき1F 📞048-720-8512 平日10:00~17:00/土・日・祝10:00~19:00

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館を制限したり、展示・イベントなどを予告なく中止・変更したりする場合があります。最新の情報は、岩槻人形博物館のホームページでご確認ください。